

第1回コーディネーター等地区別連絡協議会を開催しました

9月11日(金)、嬉野市中央公民館にて「第1回コーディネーター等地区別連絡協議会」が開催されました。本校通学区域にある小・中・義務教育学校・高等学校の特別支援教育コーディネーター、幼稚園、保育所、認定こども園の特別支援教育担当者及び教育委員会・教育事務所の特別支援教育担当者69名が一堂に会し、特別支援学校のセンター的機能の充実と特別支援教育に関する各学校等間の連携を図るとともに、障害のある幼児児童生徒への適切な支援の推進を図ることを目的として研修を行いました。

前半は、佐賀県教育委員会特別支援教育室の山田恵理子指導主事と西部教育事務所の松園奈津子指導主事より「特別支援教育コーディネーターの役割について」と題し講義していただきました。後半は、高等学校と幼保等・小・中学校の地区別とに分かれ、グループ協議を行いました。初めて特別支援教育の担当になった方からベテランの方まで、それぞれの立場から活発な意見交換がなされていました。

グループ協議のまとめでは、各グループからの報告が行われました。幼保からの情報が小・中と引き継がれ、受験を経た高等学校でも、しっかりと支援が継続されており、高等学校の先生から、これまで関わってこられた幼保・小・中の先生方への感謝の言葉がありました。それぞれが業務や所属の垣根を越えて、連携しあえている例を知ることができ、参加者一同今後もさらに頑張っていこうと気持ちを新たにすることができました。また、アンケートでは、「悩みや思いを共有し、これからの見通しを持つことができました。」「コーディネーターの仕事は多岐にわたり一人では無理なので、校内体制づくりをみんなですていきたい。」という声も上がりました。



「3密」を避けるため、広い会場で実施しました。検温・マスク着用・アルコール消毒などご協力ありがとうございました。